

令和4年度第2回宮城県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和5年2月20日（月）10時30分～12時00分
- 2 開催場所 宮城職業能力開発促進センター 本館3F 多目的ホール

3 議題

I 宮城支部・宮城職業能力開発促進センターにおける  
職業能力開発業務の令和4年度事業実績と令和5年度事業計画等

- 1 早期再就職への支援
  - (1) ハロートレーニング（離職者訓練）
  - (2) ハロートレーニング（求職者支援訓練）
- 2 生産性向上等に取り組む事業主等への支援
  - (1) ハロートレーニング（在職者訓練）  
指導員派遣、施設設備貸与
  - (2) 生産性向上支援訓練
- 3 地域連携・地域貢献等

II 東北職業能力開発大学校における

職業能力開発業務の令和4年度事業実績と令和5年度事業計画等

- 1 高度実践技術者・将来の生産現場リーダーの育成
- 2 生産性向上等に取り組む事業主等への支援
  - (1) ハロートレーニング（在職者訓練）  
指導員派遣、施設設備貸与
- 3 地域連携・地域貢献等

III 各部会報告

- 1 東北能開大部会
- 2 訓練計画専門部会

IV その他

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、質疑応答及び意見交換が行われた。  
主な意見は以下のとおり。

(離職者訓練について)

・活躍事例の紹介は、貴機構の業務内容を外部の方が把握するのに分かりやすいので、今後も続けていただきたい。

・女性に配慮したコースについて、県では今後、設定の必要性を感じていることから、ジェンダー平等を踏まえつつ、機構と連携して進めていきたい。

(在職者訓練について)

・在職者訓練の土日の設定コースについては、労働者の福利厚生的一面から必ずしも望ましいとは言えないため土日開催はよく検討していただきたい。

(地域連携・地域貢献について)

・県内でのものづくりへの関心を今後も強くしていく必要があるので、県としては今後も地域連携を推進していく必要があると感じている。

(就職困難者への支援について)

・生活困窮者が自立した生活を送れるようになった際に、職業訓練に円滑に移行し、就職できるよう、多賀城市の福祉関係の課と連携し、進めていただきたい。

(高度実践技術者・将来の現場リーダーの育成について)

・高校では半分以上が県内に就職し、逆に大学では半分以上が県外に就職する傾向があるので、県としては、県内の企業に就職をしていただけるように機構と共に連携して進めていきたい。

以上

令和4年度宮城県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会委員名簿

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (2名)	嵩 さやか (会長)	東北大学大学院法学研究科教授
	加賀 英紀	株式会社河北新報社 人事部長
労働者代表 (2名)	星 幸司	日本労働組合総連合会宮城県連合会事務局長
	大倉 克志	宮城県退職者連合事務局長
中小企業等代表 (4名)	稲妻 敏行	宮城県商工会連合会専務理事
	大内 仁	宮城県中小企業団体中央会専務理事
	西村 博英	一般社団法人宮城県建設業協会専務理事兼事務局長
	今野 薫	仙台商工会議所専務理事
行政機関 (4名)	竹内ひとみ	厚生労働省宮城労働局職業安定部長
	大庭 豪樹	宮城県経済商工観光部副部長
	深谷 晃祐	多賀城市長
	門脇 克行	宮城県立仙台高等技術専門校長